

教材名 おはなし遊び「ひつじぱん」

教材のポイント

- ・C課程で学ぶ児童が「自分で話を展開させる面白さに気付き、自分から話を展開させることができる」ことをねらった教材。

提供者： 松井桂子

教材の写真

(右上から時計周りで)おおきいぱん、まんまるぱん、ひつじぱん、ながーいぱん、ひつじぱん、窯に見立てた箱



絵本「ひつじぱん」に出てくる「ぱん」4種類をフェルトや布で作成。絵本に出てくる表現にそって、それぞれ大きさや長さ、色、柔らかさを考慮しました。

児童一人ずつ前に出て、窯に見立てた箱からパンを取り出すことで、話が展開していきます。

(手を伸ばす、掴む、放す、持つ、等の動きもねらいます。)



教材名 「<正解・できた>が分かる教材」

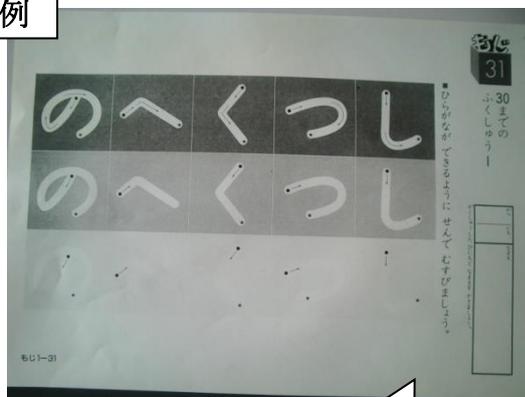
教材のポイント

- 子どもが好きなおもちゃを個別学習の評価に使用した。
- 正解・できた時はビーズや鈴をペットボトルへ入れる。(子ども)
- 不正解・できなかった時はビーズや鈴を×の箱へ入れる。(大人)
- できたという実感やおもちゃが完成する嬉しさを感じながら学習できる。

提供者： 清水 亜紀

教材の写真

例



はみ出さずにうまくなぞれた！
↓
ビーズをペットボトルへ
入れる。

はみ出しちゃった・・・
↓
ビーズを×ボックスへ。

学習が全部終わると、好きなおもちゃが完成！



教材名 「BINGO～ビンゴ!～」

教材のポイント

- 引っ張るベルト付ひもにはピンマグネット、引っ張られる色の台紙には強力マグネットをつけることで、自分で引っ張っている実感を得ることができると考えて作成した。(取り外しが簡単にでき、ベルトを子どもの手に密着させて取りつけることで力が加わりやすくした。)
- イラストは子どもたちの好きな歌にして、いろいろなバリエーションで楽しむことができる。
- 色のマッチング(くじ引きをして同じ色のところに合わせる)などもできるのではないかな。
- 音楽が好きな子どもが、自分で何かをやったことによって聴くことができるということが分かり、自分でひもを引っ張ってみようとする姿が見られた。

提供者： 大塚智恵子

教材の写真



①手にベルトをつけて
ひも(ゴム)を引っ張る。



②イラストや写真が
でてくる。



③でたイラストや写真と
関係のある音楽を聴く。



列が完成すると
鈴を鳴らして喜ぶ。

教材名

「あわせてみよう～ペットボトルキャップ合わせ～」

教材のポイント

複数の色や模様の異なるペットボトルキャップを弁別し、同じ画像の部分に、はめていくというもの。何度も繰り返すことで、子どもなりに、試行錯誤して自分なりのやり方を考える、工夫するなどの広がりも期待できるものとして制作した。

- 教師が対面で付かなくても、一人で取り組む自立課題として
- 複数の児童生徒を一人で担当する際などに、一人で取り組む課題として行うことで、その間、他の生徒に付いてじっくりかかわることも可能となる
- 課題間のインターバル的な課題として など

- ・「同じ」と「違う」がわかる
- ・一対一対応ができる
- ・手元をよく見てキャップをつまむ、移動して決められた場所へ置くなど、手指の巧緻性や目と手の協応動作など、基本的な作業能力や学習能力を身につけていくことへの発展が期待できる
- ・タイマーを併用することで、「何秒でできた？」などにも発展できる。

提供者：柊山貴央

教材の写真



教材名 「カタカナをおぼえよう」

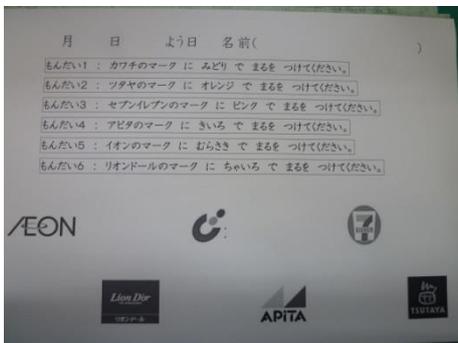
教材のポイント

- ・生徒が楽しくカタカナの勉強をすることができるように、各生徒の好きなものや興味のあるもの（お店のロゴマーク、スポーツメーカーのマーク、車のエンブレムなど）を取り入れて、プリントを作成した。
- ・カタカナを読むことと、書くことに取り組めるよう、2つのパターンを考えた。読んで解くものについては、色の名前もカタカナで表記するようにした。
- ・書くプリントに取り組む際に、一人で解くことができるように、ヒントになるようにカタカナ表も用いた。

提供者： 渡邊 由貴

教材の写真

読む



書く



(カタカナ表)



教材名 「 カラフルとんねる 」

教材のポイント

- ・フラフープ（連結用）に合わせて、布を縫い合わせているので、着脱が簡単である。子どもの実態に合わせて長さを調節できる。

<体の動きが限定される子どもへの支援教材として>

- ・うつ伏せの姿勢で台車に乗り、首を起こす動きを促す。
- ・四つばいでの歩行を促す。
- ・視力が弱い子どもへ・・・光が通る布（オーガンジー）を使う。

提供者： 平野 未来

教材の写真

トンネルをくぐるということで、周りの景色に注目し、首を起こそうという動きが増えます。



声や、音を聞いて四つばいで進む動きが出ます。



光が差し込む素材を使用。

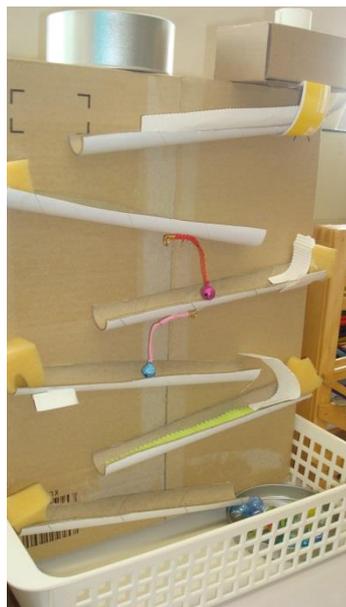
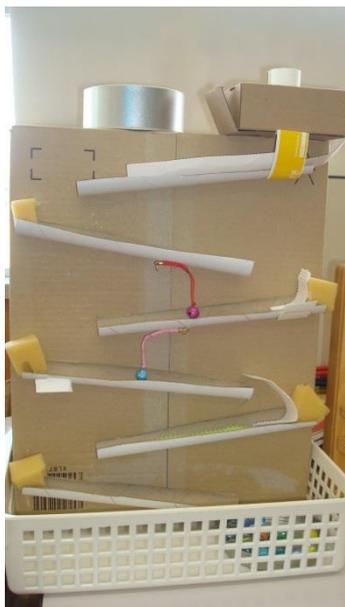
教材名 「ころころすとん！」

教材のポイント

- 指先を使って玉を入れ、ボールの動きを目で追うことで、手の巧緻性と集中力を養うことができる。
- 誰でも興味を持って取り組み、途中に鈴をつけることで、音も楽しめる。
- 気軽にいつでも遊ぶことができる。

提供者： 最上 恵

教材の写真



教材名 「 さわってみよう 」

教材のポイント

- ・ 大小ビーズの感触を楽しむことができ、触ることで鈴の音色が聞こえます。
- ・ 触っても、叩いても、はじいても音が出ます。
- ・ 絵柄は、「ねこのピート」です。

提供者： 管野洋子

教材の写真

